茨城・つくばにBTS型
来夏着工 ZOZO向け3棟目

1階、3階、4階に計90台分のトラックバースを設ける(完成予想図)

延べ床面積11万平米

プロロジス

プロロジス(山田御酒社長、東京都千代田区)は5日、茨城県つくば市内でファッション通販大手のZOZO向けBTS(特定企業入居)型物流拠点となる「プロロジスパークつくば2」の起工式を行った。2018年9月から稼働している「つくば1-A」、19年9月に竣工予定の「つくば1-B」と合わせたZOZO専用のつくば市内の物流拠点は3カ所で、延べ床面積25万平方㍍と、プロロジスのBTS型物流施設として最大規模となる。(谷本博)

適地にある。「つくば1-A」と「つくば1-B」は隣接しており、延べ床面積が14万平方㍍。両施設からは6㌔㍍の地点に位置するため、3拠点を一体的に活用できる。

つくば2は、敷地面積が5万平方㍍で、延べ床面積11万平方㍍の4階建て。1階、3階、4階に計90台分のトラックバースを設け、ダブルランプウェーにより、大型車両が直接上階にアクセス可能。敷地内の車両動線はワンウェーとすることで安全性に配慮した。また、将来的な庫内オペレーション自動化を考慮し、ワンフロア最大2万6千平方㍍を確保する。19年7月着工、20年9月末の竣工を見込む。

環境や省エネへの取り組みとして、高天井用人感センサー付LED(発光ダイオード)照明を整備。また、緊急地震速報システムや衛星電話を導入するほか、2階には非常時用の荷物搬出口を設けることでBCP(事業継続計画)をサポートする。

起工式の後に開かれた直会で、山田社長が「07年から推進している『圏央道沿線プロジェクト』の一環。一昨年から、つくば市内でもスタートしているが、3棟とも全てZOZOさんの専用施設。四つ目もぜひ期待したい」と述べた。

これに対して、ZOZOフルフィルメント本部の大蔵峰樹執行役員は「当面は、今回の3拠点で完了する予定。ただ、つくばは弊社にとっての基幹拠点に位置付けており、今回の施設完成後には自動化を推進する考え」と抱負を示した。

社員と協力し発展努め
犬塚社長 需要拡大に重点

セントレア

中部国際空港(セントレア、愛知県常滑市)が10日に東京都で開いた会見で、6月27日付で社長に就任した犬塚力氏は「前社長の友添雅直相談役をはじめ、各務正人副社長、全社員と協力しながらセントレアの発展に努める。更なる航空ネットワークの拡充、需要の拡大を重点としたい。『令和』の幕開けとともに就任できたことは光栄だ」と所信を述べた。

更に、「(万国博覧会の)愛・地球博が開催された2005年から15年近くが経過し、その間には非常に厳しい経営環境に直面することもあった。国を挙げたインバウンド(訪日外国人)の誘致やLCC(格安航空会社)の就航などにより、18年度の利用旅客数は万博特需に沸いた05年度の記録を更新した。マネジメント層と現場スタッフの取り組み、貨物需要の回復、航空ネットワークの充実などが結実した形だ。空港南側地区の施設整備も進み、様々な相乗効果を生み出している」と強調。

所信を述べる犬塚社長(左)と各務副社長

課題となっている第2滑走路の整備について「地元の期待だけでなく、リダンダンシー(代替性)確保といった面もある。今後の中部地域の成長に向け、これまでの資産を受け継ぎながら更なる成長につなげていくことが、新体制に与えられた責務だ」と話した。(小瀬川厚)

デジタコ&DR展示
役立つ情報を提供
谷田サービス

デジタルタコグラフ(デジタコ)をはじめとする自動車運送事業者への各種機材の販売・取り付けと修理などを手掛ける世田谷サービス(冨安誠司社長、東京都世田谷区)は5日、各種関連機器などを集めた展示会「トラフィックショー2nd in立川」を開催した。

会場では、デジタコのほか、ドライブレコーダー(DR)や労務管理システム、IT(情報技術)点呼やアルコール検知器、盗難防止装置などを展示。メーカーや販社など15社が最新機器を並べ、来場した事業者に情報提供した。

また、展示会場とは別のホールでセミナーを開催。三多摩地区で事業を展開する運送事業者、ウインローダー(杉並区)の髙嶋民仁社長らが講師を務めた。髙嶋氏は「運送業界の働き方環境改革」をテーマに、6年前から本格的に着手した社内での改善基準告示対応の活動について紹介した。冨安社長は「働き方改革が課題になっており、皆さんに役立つ情報を提供したい。昨年に続きトラフィックショーを開催したが、来年も継続したい」と話している。(佐々木健)

メーカーなど15社が最新機器を展示

名古屋で交流会
トラボックス 支援サービスに力

トラボックス(吉岡泰一郎社長、東京都渋谷区)は6日、名古屋市で愛知交流会を開催し、200人の会員が参加した。

吉岡社長が「毎回、愛知での開催は非常に盛り上がる。これは当社の力ではなく、日頃から実際に取り引きされている方々あってのこと。働き方改革や人手不足で先行き不透明な業界ではあるが、消費増税による駆け込み需要の特需も予想されるので、しっかり情報交換し、成約につなげて欲しい」とあいさつ。

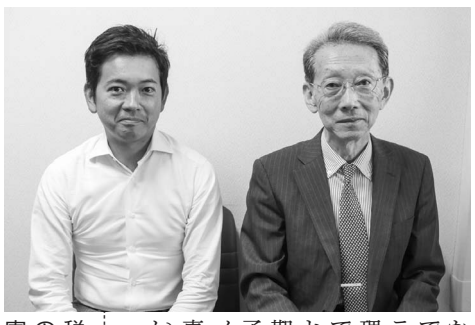
また、現在力を入れる業務支援サービス「トラじろう」や運賃全額保証サービスを説明し、「新しい取り組みには踏み出しにくい側面もある。しかし、最近では当初、二の足を踏んでいた会員が利便性からヘビーユーザーになった例もあるので、より多く利用されることを期待している」と話した。(梅本誠治)

記念撮影に臨む参加者

親子2代40年のノウハウ
運送業界一筋に支援
行政書士 古屋事務所

「運送事業はこれから難しい時代に突入する。働き方改革の対応は困難で、『ドライバーを雇用せず外注で運ぼう』という動きが出ている。仕方がないが、事故増加が懸念される」と危惧するのは、行政書士の古屋享氏(73)。昨年からは同業界の常識を知らずに経営改善のアドバイスをするところも多い。直之氏は「他の税理士が作成した税務書類では、修正しないと営業報告書をつくれないこともある。貨物運送事業者として定められた勘定科目と、原価計算のルールがある」と指摘する。

「税理士の中には傭車などの外注費を避けるようアドバイスすることが多い。ケースごとに異なる。享氏も「経営者からの貸付金で急場をしのぐことは多いが、これを負債にするか、資本にするかで貸借対照表はガラッと変わる。税理士ならではの力で支えて欲しい」と直之氏の手腕に期待を寄せる。親子2代40年に及ぶノウハウの蓄積で事業者を支援していく構えだ。(佐々木健)


税理士の直之氏の手腕に期待を寄せる享氏㊨

(38)とともに運送事業者を支援している。

享氏は1980年に行政書士事務所を開業。以来、運送業界一筋で業務を続けてきた。

「当時は認可運賃で、一番良かった時代。ドライバーの収入も高かった。物流2法で事前届け出制に移行したが、今の長時間労働と低運賃、低賃金は自由化で生まれた問題。分野は異なるが、貸切バスの5年ごとの許可更新制の導入は、規制緩和の果てに実施された」と振り返る。

直之氏は大手会計事務所、大手税理士法人を経た後、行政書士として開業した。事業者にとって、行政書士も税理士も一番身近な相談先。コンプライアンス(法令順守)と財務や資金繰りという経営の根幹を、1カ所で見られるように資格取得など準備をして、修業してきた。

専業の税理士だと、運送業界の常識を知らずに経営改善のアドバイスをするところも多い。直之氏は「他の税理士が作成した税務書類では、修正しないと営業報告書をつくれないこともある。貨物運送事業者として定められた勘定科目と、原価計算のルールがある」と指摘する。

「税理士の中には傭車などの外注費を避けるようアドバイスすることが多い。ケースごとに異なる。享氏も「経営者からの貸付金で急場をしのぐことは多いが、これを負債にするか、資本にするかで貸借対照表はガラッと変わる。税理士ならではの力で支えて欲しい」と直之氏の手腕に期待を寄せる。親子2代40年に及ぶノウハウの蓄積で事業者を支援していく構えだ。(佐々木健)

税理士の直之氏の手腕に期待を寄せる享氏㊨

軽商用車を一部改良
マツダ 夜間歩行者 検知可能に

マツダは4日、軽商用車「スクラムバン」を一部改良し発売した、と発表した。

「PASスペシャル」「PASスペシャル」「PCSスペシャル」「BUSTER」の各機種に、マツダの軽自動車で初となる夜間歩行者検知機能を備えた自動ブレーキ「デュアルカメラブレーキサポート」を採用した。また、超音波センサーによる「後退時ブレーキサポート」を新たに設定。経済産業省や国土交通省が普及啓発を推進する安全運転サポート車の「サポカーS・ワイド」に該当する。

更に、前席上部にある「オーバーヘッドシェルフ」をスクラムバンで全車標準化するなど、室内の使い勝手を向上させた。(高清水彩)

AI活用陸上輸送基盤
需給仲介 アジアで導入
キューネ+ナーゲル

海上・航空貨物の輸出入等の運送代理を行うキューネ・アンド・ナーゲルは、AI(人工知能)を活用した陸上貨物輸送プラットフォーム「イートラックナウ・コム」をアジア太平洋地域で導入する、と発表した。オンライン上で陸上貨物の需要と供給を仲介する既存事業のオンラインサービスを更に拡充させていく。

最先端のプラットフォームを採用することで、荷主企業は見積もりを比較するプロセスを自動化及び合理化できるほか、リアルタイムで輸送状況確認が可能。イートラックナウ・コムに登録している輸送事業者は、ビジネスチャンスにつなげることができる。

同社はイートラックナウ・コムをタイで最初に導入。その後、2019年から20年にかけてインド、ベトナム、シンガポール、マレーシア、ニュージーランド、オーストラリアで展開する予定だ。なお、日本での展開は現状で未定としている。(井内亨)

CO₂ゼロへ都に寄付
日野 持続可能な都市むけ

日野自動車は5日、東京都が推進するCO₂(二酸化炭素)を排出しない持続可能な都市「ゼロエミッション東京」に賛同し、「東京都キャップ・アンド・トレード制度」に基づくCO₂削減クレジット13・3万㌧(第1期、2010~14年度累計分)を都に寄付した、と発表した。

同社は17年に「日野環境チャレンジ2050」を策定し、新車CO₂ゼロ、ライフサイクルCO₂ゼロ、工場CO₂ゼロなどを掲げ、実現に向けた取り組みを続けている。

今後も更なるCO₂削減を推進し、燃費などの環境性能を極限まで高めるとともに、トラックの物流効率化を図る。(高清水彩)

矢野経済研調べ■高機能包装材料18年
国内市場規模 横ばい
バリア機能にニーズ

矢野経済研究所(水越孝社長、東京都中野区)が8日発表した2018年の国内高機能包装材料の市場規模(国内出荷・輸出量)は、前年比1・0%増の77万9185㌧と、ほぼ横ばいだった。

フィルムを貼り合わせ強度と密封性に優れたシーラントフィルムは2・6%増、水蒸気や酸素などのガスを通さないバリアフィルムが1・7%増、また、熱で縮み形状にフィットするラベル用のシュリンクフィルムは0・7%増だった。基材フィルムは0・4%減。

食品やトイレタリー用品のパウチ化が進むとともに、食品の賞味期限延長や鮮度保持のためパウチへのバリア機能付与のニーズが高まっていることから、シーラントフィルムやバリアフィルムの伸びにつながっているとみられる。(吉田英行)

AIで需要予測
ウェブ版を提供
NEC

NECは、ウェブブラウザを使って手軽に高精度な需要予測ができるAI(人工知能)活用のサービスを、「アマゾンSaaSストア」で8日から提供開始した。

新サービス「需給最適化プラットフォームWebサービス版」は、製造、卸、物流、販売といったバリューチェーンにおける需要と供給を最適化するプラットフォームを拡充したもの。

定型予測(客数予測分析)と非定型予測(多目的予測分析)で構成する。定型では利用者がデータを入力するだけで来客数を予測でき、非定型では利用者自身が分析モデルを設計して、販売数や出荷数を予測する仕組み。

同社が提供する気象情報などのデータと組み合わせて利用することもできる。

月額利用料は定型が4万9800円から、非定型は9万9800円から。(吉田英行)

8週ぶり値上がり
126円80銭
軽油

資源エネルギー庁が10日発表した8日時点の軽油の店頭価格(全国平均)は、前週に比べ10銭高い1㍑126円80銭だった。8週ぶりに値上がった。ガソリンはレギュラー、ハイオクともに20銭高の、それぞれ145円80銭、156円60銭。日本エネルギー経済研究所では「原油価格は上がったが、これまでの値下がりを反映させるために小幅な値上がりとなった。原油価格は下がってきているが、値上がりを転嫁させるため来週は小幅な値上がりとなるだろう」としている。(伊代野輝)

石油製品小売市況調査

	軽油(円/㍑)		レギュラー(円/㍑)	
	7月1日	7月8日	7月1日	7月8日
北海道	125.8	127.7	142.3	144.0
青森	126.1	126.0	144.8	144.6
岩手	122.5	122.4	142.4	142.2
宮城	121.0	120.7	139.5	139.1
秋田	130.7	130.5	147.2	146.9
山形	130.9	131.8	148.0	149.0
福島	127.8	127.9	147.5	147.6
東北	126.5	126.5	144.9	144.9
茨城	121.5	121.3	141.5	141.1
栃木	124.3	124.6	143.5	144.2
群馬	125.4	125.7	142.9	143.8
埼玉	120.7	120.8	140.1	140.1
千葉	122.6	122.8	141.7	141.7
東京	125.7	125.9	144.9	145.3
神奈川	121.1	121.9	139.9	141.8
新潟	128.3	128.4	144.2	144.2
長野	131.2	131.2	151.9	151.9
山梨	125.1	125.9	145.9	146.9
静岡	126.7	127.0	146.2	146.5
関東	124.7	125.0	143.8	144.2
愛知	124.0	123.6	142.2	141.8
岐阜	126.7	126.6	146.9	146.8
三重	127.5	127.4	145.0	144.8
富山	125.5	126.0	142.9	143.8
石川	124.3	124.2	140.6	140.5
中部	125.6	125.5	143.7	143.7
福井	126.2	126.3	144.7	144.7
滋賀	121.1	121.0	143.6	143.6
京都	128.2	128.3	148.7	149.0
奈良	124.0	123.7	144.1	144.0
大阪	123.5	124.5	143.2	144.0
兵庫	125.3	124.9	145.9	145.5
和歌山	123.8	122.9	144.3	143.1
近畿	124.7	124.6	145.0	144.9
鳥取	126.6	127.3	141.5	142.1
島根	131.0	131.4	147.1	147.5
岡山	127.1	126.6	146.3	145.9
広島	126.6	126.4	144.7	144.4
山口	126.1	126.9	143.3	144.1
中国	127.6	127.8	144.7	144.9
徳島	125.9	125.9	145.0	144.9
香川	123.6	123.6	145.2	145.2
愛媛	128.0	127.7	149.0	148.8
高知	132.2	132.2	152.2	152.2
四国	127.4	127.4	147.8	147.8
福岡	125.9	126.0	147.4	147.5
佐賀	130.7	130.3	150.9	150.7
長崎	140.3	138.5	158.1	157.6
熊本	125.5	124.9	148.0	147.3
大分	130.6	130.5	152.8	152.6
宮崎	129.8	129.4	149.6	149.2
鹿児島	135.7	135.8	154.2	154.3
九州	131.0	130.6	151.3	151.1
沖縄	137.3	137.1	151.5	152.4
全国	126.7	126.8	145.6	145.8

(注)消費税込み。資源エネルギー庁調べ

(面担 安藤泉)